

平成 16 年度（H.15 夏実施）宮城県・仙台市教員採用試験（二次試験）

8 月末に一次試験の結果と二次試験の案内が郵送されてくる。結果は仙台市役所東側掲示板に発表される。発表当日の午前 10 時から受験番号のみ宮城県教育委員会と仙台市教育委員会のホームページでも発表された。郵送されてきた二次試験の案内を読むと、3 回の個人面接、適性検査、作文、体育実技、音楽実技と内容が多い。試験会場でも、部屋を移動する必要があり、複雑で分かりにくい。郵送されてきた二次試験の案内をよく読み、試験内容や時間、部屋などをよく把握しておくとともに、早めに受験会場に行き、実際の受験する部屋などを確認しておくとういと思う。

場所：仙台市教育センター

1 日目 H.15.9.10（水）

午後 1 時頃試験会場入りした。玄関で試験案内と記入提出用の用紙が渡された。面接開始までの間、ロビーでその案内を読み、記入提出用の用紙に必要事項を記入。

記入提出用の用紙には下のようなことの質問があり、記入して「個人面接」で提出するように案内があった。

- ・ 公務員試験や民間企業、大学院進学等、他の試験の受験状況及び結果。
- ・ 他都道府県の教員採用試験の受験状況及び結果。
- ・ 採用になった場合、宮城県と仙台市どちらの採用を希望するか（下のような項目があり、自分で丸をつける）。
 - 1.宮城県
 - 2.仙台市
 - 3.どちらでもよい

【個人面接】

3 人の面接官との面接。



廊下にイスが置いてあり、座って時間まで待つ。前の受験者が退場してしばらくすると、入口から面接官が廊下に出てきて入室を促される。入室し、受験番号、氏名を告げ、面接官に受験票を渡し、図の の位置にあるイスに座る。

の面接官から「昨日は眠れましたか」「この二次試験までにどんな準備をしましたか」「他の都道府県を受けましたか」等の（緊張をほぐすような？）質問を受ける。

その後で、(おそらく)6月に送付・提出した受験願書をもとに、履歴等について質問される（宮城県・仙台市教員採用試験の受験願書は、高校、大学時代の部活動、ボランティア活動について等、自分についてかなり詳しく記入する欄がある。自分のことについてよく把握しておくとともに、記入した受験願書をコピーしておいてそれについては必要に応じて簡単に説明できるようにしておくといよいのでは）。

私は以下のような内容の質問・確認を受けた。

- ・いま勤務している所、仕事内容について、現在までの職歴。
- ・大学で作成した論文について、素人にもわかるように説明してください。
- ・現在、教員になろうと考えた理由。

面接官 から

- ・高校、大学時代には部活動で を一生懸命にやられてきたようですが、 の魅力を教えてください。
- ・今までの人生で、一番辛かったことを話してください。

面接官 から

- ・(質疑の中で、過去に経験した仕事で問題と感じたことをお話しした)以前経験した問題が、新しい職場、学校でも起きたら、どのように対応しようと思いますか。

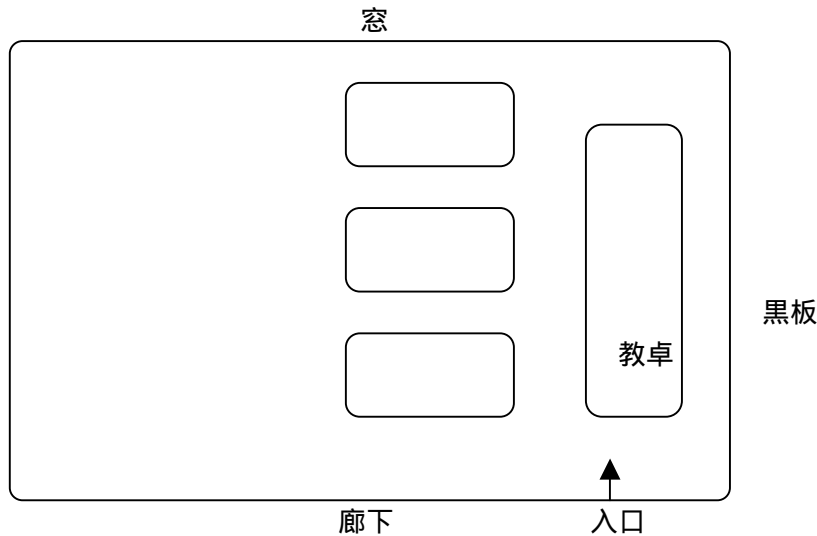
面接官 ， ， からは話の流れに沿ってランダムに質問があった。面接官 ， は男性， は女性の方。質問の内容から、面接官 ， は校長先生や教育委員会の方， は民間の方かもしれない。他から、最近は教育関係の方だけでなく、民間企業の方が面接官に入っているとの情報があった。

面接官 から「以上で終了です。」と受験票を渡され、終わりとなる。15分程度だったと思われる。

退室後、廊下に置いてある受験番号表のなかから、自分の受験番号をペンで消し、個人面接 の部屋へと向かう。

【個人面接】

理科室。面接官二人。



入室し教卓に荷物を置き， に着席。机にメモ紙と鉛筆が置いてある。面接官 から「暑いですね」「三つボタンスーツはたいへんですね。」等と軽くお話しをいただいた。その後，次のような課題の提示があった。

「教室の掃除中に児童生徒がふざけていて，誤ってガラスを割ってしまいました。あなたならその場でどのように指導しますか。3分間考えた後，児童生徒に話し掛けるようになってみてください。その際，小学校，中学校，高校の別を話してからお願いします。机の上にあるメモ紙と鉛筆は考える為に自由に使ってかまいません。」

私は緊張していたのか，小学校，中学校，高校の別を話さずに開始してしまった。目の前に子どもたちがいるつもりでその場で真剣に話した。演劇のオーディションのような形になっていたと思う。

上記の試験会場で，黒板側に窓があるつもりで以下のような話（演技？）をした。

「ガチャン（と窓ガラスが割れたと仮定）」

机の右側まで急いで移動し，ガラスを割ってしまった子どもに寄り添った（つもり）。その子の身辺を確かめながら「大丈夫か。けがなかったか。」と真剣に尋ねる。

（本人のけががなく，無事であることの確認がとれたと仮定して）

「はい，いま教室にいる人，先生の近くに来てください」（と深刻な顔をしてその場にいた児童を集める）

「みんな，今どうしてガラスが割れたと思いますか（考えさせ，挙手を求める）」

「はいAくん」...「うん，なるほど，そうだね。」

「他に考えた人はいますか，はいBさん」...「はい，わかりました（深くうなずく）。」

「はいCくん」...「そうだね。」

「じゃ，これからどうしたらいいと思いますか。」

「Dさん」...「うん，なるほど。」

「みんなよくわかっているね。みんなが言ったように，これは（右手にほうきを持ってそれを子どもたちに提示している）遊びの道具ではありません。まして，今は休み時間で

もありません。掃除の時間です。今日はたまたま怪我がなくてよかったですが、このガラスがみんなの腕や足や、目に入ったりしたらどうなりますか(と強い口調で言う)。そういうことをよく考えて、しっかりと行動してください。」

「はい、じゃ、ガラスは先生が片付けますから、みんなは、教室の後ろのほうの掃除を続けてください。」

こんな感じだったと思う。児童生徒への対応の仕方をほとんど即興でその場で演技するといった内容。この後、面接官から質問があった。

面接官 から、

「ガラスを割ってしまった子、その周囲にいた子はそれぞれどんな気持ちでいたと思いますか。それぞれの子どもたちについて述べてください。」

「先生からの注意が子どもたちに伝わらないときがあるとすれば、それはなぜだと思いますか」

教師との関係性によることを述べた。普段から一緒に掃除などの作業で行動をともにしたり、声をかけたりしながら、信頼関係を気づいていくことが大切、といったようなことを話した。

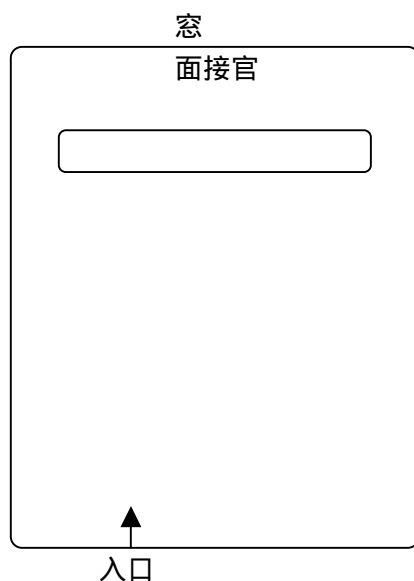
面接官 から、

「今までの人とのかわりの中で、うれしかったこと、ありがたかったとおもったことを一つあげてください。」

以上 15～20 分程度であったと思う。

【個人面接】

面接官一人。



試験会場に入った際に渡された記入提出用の用紙をここで面接官に渡す。記入したことを簡単に確認された。

私は職歴について（おそらく受験願書をもとに）簡単に質問があった。その後、次のような具体的な教育場面について、どのような対応をするか質問を受けた。

質問 「あなたが担任している子どもに対して、思わず感情的になって叩いてしまいました。あなたはその後どのように対処しますか。」

子どもに直接冷静になって謝り、その後先生方、教頭先生、校長先生に報告します。

さらにすぐに家庭訪問をして保護者の方に事実報告をして丁寧に謝りたいと思います。

質問 「あなたが叩いてしまった子どもが、このことが原因で不登校になりました。今後あなたはどのように対応しますか。」

本人が学校に来ることができないとしても、クラスの一員であるということを担任として常に自覚し、他の先生方とも話し合い、家庭訪問などの方法を継続し、学校とのつながりを大事にしていきたいと思います。

15分くらい。

2日目 H.15.9.11(木)

午前8時半ころ集合。9時くらいから試験開始。

受験番号、校種により、受験する部屋が決まっており、その部屋で試験開始を待つ。

【適性検査(内田クレペリン検査)】

心理検査の一つ。横長の用紙に一桁の数字が横に並んでおり、その数字を隣同士足し、答えの下一桁を数字の間に書いていくといった作業をする。心理学科を卒業した方なら経験があると思う。最近、教員採用関係の書籍にもこの検査の紹介があった。特に準備をする必要はないが、知らない方は一度どのようなものか見ておくともよいかも。40分ほどかかり、ひたすら足し算をしていくので、手も頭もかなり疲れる。

40分ほどかかり、ひたすら足し算をしていくので、手も頭もかなり疲れる。

【作文】

時間60分。字数は500~600字程度だったと思う。構想を練るような予備の用紙はなく、原稿用紙縦書き1枚。原稿用紙の右上に作文の題が書いてある。

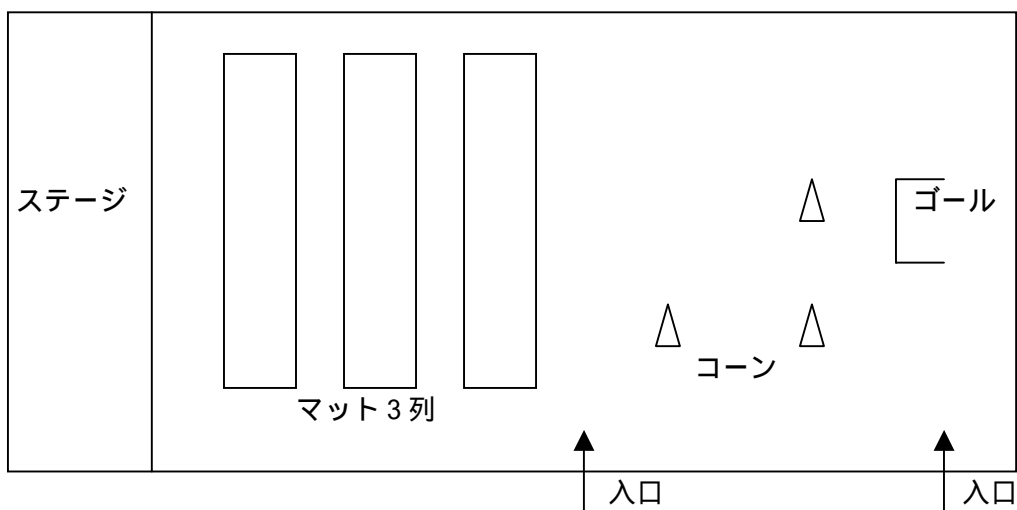
今年度は「観る」。具体的な教育場面などの課題ではなく、抽象題。

時間内に終われるように練習しておくともよいと思う。

昼食をロビーで取り、午後は実技。実技は受験番号によりいくつかの班に分かれ、開始時間や順番はそれぞれ異なる。当日朝に受付で配られた用紙に詳細がのっており、それに従って受験。

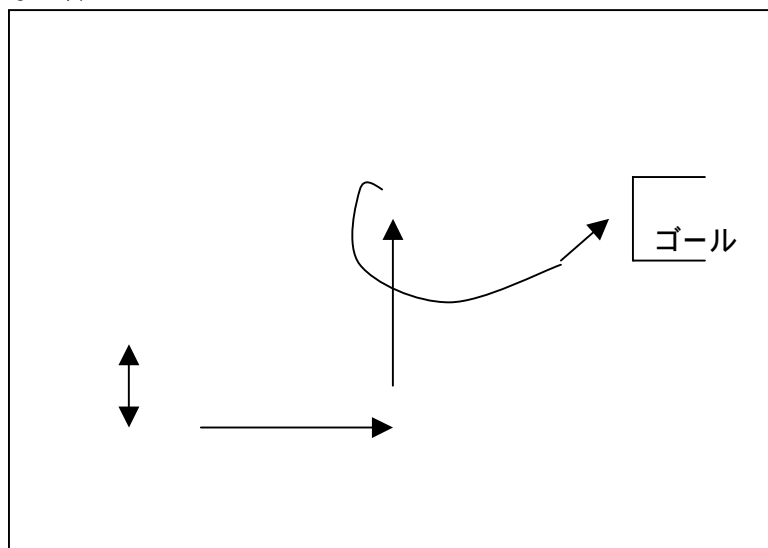
【体育実技】

屋内運動場で行われた。ステージ側にマット3列。後ろ半分にバスケットボールのゴールが準備されゴールまでの数箇所に小さなコーンが置いてある。ステージの幕が閉まっており、ステージ内で運動着に着替える。受験番号を付したゼッケンを胸に付けておくように送付されてきた二次試験の受験案内に指示がある。



最初、全員で準備運動を行い、その後、マット運動とバスケットボールの 2 班に分かれた。

バスケットボール



受験番号順に上図の に並ぶ。

3回チェストパス

右手ドリブルで直進し、コーンのところに敵がいるつもりでフロントチェンジ（ドリブルを自分の前で左手に替える）。

方向を変えて左手ドリブルで進む。次のコーンで再びフロントチェンジ（右手に持ち替える）。

右手ドリブルでゴール近くまで行き、シュート。

2回ほど見本を見せてもらえる。1回練習あり。また、左利きの人用に反対側での試験も行われる。

マット運動

「倒立前転 前転 伸膝後転 側方倒立回転 伸膝前転」

課題を指示された後、3列のマットを使い、しばらく練習時間がある。その後、一番ステージ側のマットを使い、一人一人受験番号順に実技をする。試験官はステージの上から見ている。マットの周囲に受験者がいる。

倒立前転は受験者同士で補助していいことが告げられる。

【音楽実技】

小学3年以上の文部科学省指定の曲から1曲自分で選んで伴奏を弾く。歌唱はなし。楽譜持ち込み可。自分の楽譜は地元の教育大学（宮城教育大学）の図書館に出向き、教師用の音楽の教科書を閲覧、コピーした。今年度は受験要項には「ピアノ」ではなく「電子オルガン」との指示があり、キーボードによる演奏だった。ピアノとは大分感覚が異なる。キーボードなので強弱はつけられない。ペダルもなし。自分の演奏曲は「おぼる月夜」。他の受験者は「ふるさと」が多く見られた。1番から2番にかけて弾き、2番に入って間もなく「はい、いいです」と止められて終了。